

に関する作文で 表彰されました

これは、将来を担う中学生・高校生の皆さんが、身近に感じた税に関すること、学校で学んだ税に関すること、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくという趣旨で実施しています。市内の中学生・高校生の優秀な作文を紹介します。

福津市長賞

賞状

久保山敬義殿
久保山敬義生自秘に贈る
佐々木健雄様
佐々木健雄様へ
平成九年十一月一日
佐々木健雄

所、私も消費税の増徴が上であると言つて反對した。いさ、金でなら、買ひ物をする意欲が削がれ、寧ろ物減るなど、私に直接関係のあることを言ふのです。しかし、個人のことは別、考えれば國はまともになります。誰か物税増徴をして國民全体で協力し合うために税金があるとは私は思ひていません。だから、個人の負担が多過ぎれば、より消費税など、間接税を中心にする。た方がよいと思ひます。

そして、高齢化に伴い所得税に頼る。若い人はもう対応できる時代では無くなつて、いると思ひます。

だから、私は今後政府が高齢化社会を、日本中の國民の直間比率をどう見直すのか、大切だと思ひます。

ていまして、高い所得税率が勤労意欲を削ぐ		税務		税務	
このや業種によつて税の負担が異なるなど					
の問題についてです。私は働いていふ父のため					
にこそこんな不満があるのだと必めて思ひ、					
所得税の累進課税制度について調べました。					
するを、父が話していたことを、所得税の累進					
課税制度の問題としてありました。					
私は調べていく中で、気になるものを見つけ					
ました。それは、直間比率というものです。					
直間比率は国によつて違い、やはり日本は直					
間比率が、高校生の税の作文原稿用紙					
税の方が高いく高いといふことを知り					
ました。					
そして、今社会が変わつていく中で日本の					
直間比率の見直しが必要だと思ひました。					
確かに直間比率の見直しが必要だも、それ					
は簡単なことでは無いとわかつています。も					
れも直間税率中心の日本を間接税率中心に変えよ					
うと思ふのなら、消費税の大幅増税は避け					
られません。しかし、消費税の税率を上げら					
れるに反対の声も多いくつとあります。在野の					

[illegible]

福津市長賞

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁
 税の事は消費税ぐらいしか知らないけれど、他の税の事について考えた時に、税に
 ついてのしくみをしっかりと知っておきたい
 と思います。そして、税が私たちの生活を支え
 てくれていることに感謝し、すぐに行動にう
 つしていきたいと思います。みんなが力を合
 わせて、豊かな国にしたいと思えます。

了。更に今では、高齢者の人に必要な年金も
 足りなくなつて、そしてとても大変な時です。
 今の日本の高齢者の総人口比率は約二〇%、
 それが二〇五〇年には三九・六%になるとい
 われてあります。高齢者が増えてくると、社会
 保障の費用が増えていき、その費用を負担す
 る働き手が減つていき、そして少なくなります。
 二〇五
 〇年では高齢者一人に対し、働き手が一・二
 人と、二〇〇〇年に比べるとおおよそ三分の一
 の数になつていくと思われています。

全国納税者組合連合会・国税庁

今、私達は消費税が上がることに対して、
 何も知らずに文句ばかり言つて、批判し続けて
 います。税を上げなければ、私達の生活に不
 自由ができてしまい、豊かな生活がなくな
 くなつてしまいます。まずは、税のしくみや
 使い道についてしっかりと学び、義務感から
 という、それだけでなく、納税者
 として、これから先の生活をどう変えていくの
 か、しっかりと考えて税を納めたいと思
 います。

	藤津市福岡中学校	三年 巳組	藤井日向子	住 所
題名	生活の中のお金と税金			
本文	私達の生活の中では、税によってさまざまな事が支えられています。 私は「税」というとまず、「消費税」がでてきます。というより私は税の事について消費税のことぐういしか分かりません。 今の日本では消費税が五％で、百円ショップに行っても必ず百円五円になります。私が生まれてきた時からそうだったのだ。何とも思わずに生きていました。でもその五円が、私の家の教科書になつたり、お年寄りの年金になつたりしていろいろなことを思ふと、税は必要不可欠なものなんだと思いました。 今、政府では消費税を五％から十％に格上げすまかどうかが議論されています。私は消費税が上がるのは嫌だけれど、今が上げないといけない状態なら仕方ないと思います。 三月に東日本大震災がありました。たいていの人が家を失いました。政府はそんな人達に支援金を渡したりして、支援しています。			

香椎税務署管内
納税貯蓄組合
連合会会長賞

科目	学年	学期	クラス
	三年	五期	
	四月		
	井上慶希		

賞状

井上慶希殿

井上慶希君

香椎税務署管内
納税貯蓄組合
連合会会長賞

[illegible]

又もさう。それでは、直たり、あつたやうに感じ まけど、たゞと人々が一生懸命勤めて納めて くゑた税金のおかげなのです。他に税金は いろいろありますが、使われていません。 國に納めた税金によつて、本年度に生活は快 楽なものになつてしまふのです。一人ひとりの納 めた税金はほんのお金が、でも、それなれ税金 を合算せば人々のために役立つところとしまふ そのへん、変へておます。税金を納めることの 大切さを知ることができ、それが、たゞです。	全国納税貯蓄組合連合会・国税庁	二本から少し品飾りも選り、無感心ではい けなれと思ひました。勤く人々、て所得税 も減ります。消費税は日本ではまだですが、 諸外國に比べれば低い現状です。	財へなが垂せに驚かせるように新しい税金 を考へたり、器から中身に集める仕組みを考へ たりしたらしいと思ひました。 今、私が、ていへば税金とていへば消費税 がないです。でも二本から社会人になつてつ け所得税、法人税、自動車税と、納める義務
又もさう。それでは、直たり、あつたやうに感じ まけど、たゞと人々が一生懸命勤めて納めて くゑた税金のおかげなのです。他に税金は いろいろありますが、使われていません。 國に納めた税金によつて、本年度に生活は快 楽なものになつてしまふのです。一人ひとりの納 めた税金はほんのお金が、でも、それなれ税金 を合算せば人々のために役立つところとしまふ そのへん、変へておます。税金を納めることの 大切さを知ることができ、それが、たゞです。	全国納税貯蓄組合連合会・国税庁	二本から少し品飾りも選り、無感心ではい けなれと思ひました。勤く人々、て所得税 も減ります。消費税は日本ではまだですが、 諸外國に比べれば低い現状です。	財へなが垂せに驚かせるように新しい税金 を考へたり、器から中身に集める仕組みを考へ たりしたらしいと思ひました。 今、私が、ていへば税金とていへば消費税 がないです。でも二本から社会人になつてつ け所得税、法人税、自動車税と、納める義務

多くなつてゐます。現金の照会を待たずして、
日本和銅業者の一人として持ちこんだ銀を納め
ていまだいひます。そして、銀の大切さを究ん
ぶに悩むことができたらしいなあと感じまし
た。

全国納税貯蓄組合連合会・国稅庁

[illegible]

平のことも知りませんでした。 私が将軍に事をすまふことにした。料をたて、人ももういたいなと思つて、所得金額が大きくなると、納める所得税の額も大きくなるんだということが分りました。	う納めた税は何に使われるのだろう。税の使い道も調べてみると、社会保険関係費にいちばん多く使われることが分かりました。社会保険とは、医療、年金、福祉、介護、生活	全国納税貯蓄組合連合会・国税庁	保護のことをですが、少子高齢化による二つの問題が生じています。一つ目は、高齢化で社会保険の費用が増えるということです。二つ目は、少子化でその費用を負担する働き手は減っていくということです。二〇〇〇年のときは、一人の高齢者につき三・六人の働き手の比率でした。しかし二〇二五年では一人の高齢者につき一・八人の働き手、二〇五〇年にはさらに一人の高齢者につき一・二人の働き手の比率になる予想されます。つまり、私たち
--	---	-----------------	---

資料：「高齢化と少子化の経済的負担」(国税庁、2015年)

中學生が働くときにはほとんど一人で行うことに
 高年齢の社会保険料負担金を払うということに
 なります。そうだと、今よりも、と高い
 金額の税を納めることになると思います。
 そのようなことの対策として、消費税を上
 げるという案がありますが、私はこれに賛成
 です。消費税が上がると、物を買うことに少
 し抵抗があると思いますが、でも、老後の安楽
 した生活や健康な文化的な生活を実現するに
 必要には、たゞさんの費用を必要とします。そ
 の中心はみんなが納める税金です。自分の老
 後のためにも、たゞさん税を納めなければな
 りないと思います。それに、世界には消費税
 が日本よりも高い国が珍しくありません。だ
 が、とも、とより良い生活が出来ない限り、消
 費税を上げることには賛成します。
 この作文を書いた時、税について分が
 たことがたくさんあります。しかれ、それだけ
 は不十分だと思いました。私たち中學生は
 税について、と知る必要があるのです。

全国税理野審議会連合会・国税庁

中 国 税 理 野 審 議 会 連 合 会